

Title: 迷いながらも一ツ事



Lines of sight

～それぞれのアジアへの視線～



池田 篤彦
1984年東京生まれ茨城育ち。
神奈川在住。
自分の写真と音楽に向き合い、「現場」での快感を大切にしてい、大いに悩みながら作品撮影・制作をします。

撮影地は植民地時代に、ある産業で栄えた街。ゆえに現在の大都市・リゾート・地方の街など様々です。

基本記載日付が出来事の日付です。



(▲2ヶ月経過)



(▲4ヶ月経過)



(▲6ヶ月経過)

● 最近のエントリー

- ☑ 準備中
(2012.10.25)
- ☑ 戻って10日
(2012.10.02)

● アーカイブ

- ☑ 2012年12月
- ☑ 2012年11月
- ☑ 2012年10月
- ☑ 2012年09月
- ☑ 2012年08月
- ☑ 2012年07月
- ☑ 2012年06月
- ☑ 2012年05月
- ☑ 2012年04月
- ☑ 2012年03月

● 投稿カレンダー

● カテゴリー一覧

- ☑ [00]日本《プロログ》
【-03/16】
- ☑ [01]韓国
【03/17-03/23】
- ☑ [02]台湾
【03/23-03/30】
- ☑ [03]ベトナム
【03/30-04/15】
- ☑ [04]カンボジア
【04/15-04/29】
- ☑ [05]タイ
【04/29-05/15】
- ☑ [06]マレーシア
【05/15-06/04】
- ☑ [06]マレーシアSC1
【05/26-06/04】
- ☑ [07]シンガポール
【06/04-06/10】
- ☑ [07]マレーシア体験
【06/10-06/14】
- ☑ [08]インド
【06/14-07/06】
- ☑ [09]ネパール
【07/06-07/21】
- ☑ [10]中国
【07/21-08/10】
- ☑ [11]マレーシアSC2
【08/10-08/20】
- ☑ [12]再撮影ベトナム
【08/20-08/31】
- ☑ [13]再撮影台湾

迷いながらも一ツ事 > 2012年10月 アーカイブ

12.10.25

準備中

[Tweet](#)

[Check](#)

お久しぶりです。
帰国してから一カ月強が経過しました。
バタバタと日常がはじまり、半年の週刊からか家でじっとしているのがたまらなく辛くなって、自転車で鎌倉までいってみたい、何かと歩き回らないと落ち着かないような日々を送っています。



▲こちらにも無事帰国のお礼参り。

さて、お知らせするのがかなり遅くなってしまいましたが、フィールドワークの帰国報告スライドショーが行われます。

2012年11月7日 18:00から 日本写真芸術専門学校 9F 901講堂にて開催されます。

目下7期生皆で準備を進めています。皆様のご来場心よりお待ちしております。



カテゴリ: [\[16\]日本《After Story》](#)
[\[08/22\]](#)
[・日記](#)

post by 池田 篤彦 | 日時: 2012.10.25 | [バナーリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

迷いながらも一ツ事 > 2012年10月 アーカイブ

12.10.02

戻って10日

[Tweet](#)

[Check](#)

神奈川の自宅に戻って丁度10日。その間20年衆の友人に会ったり、旅の整理をしたり、生き物たちのメンテナンスをしたり・・・予想していたことですが、出国前の日常の感覚に戻るのには切ないくらいにあっさりです。

- ☑ [08/31-09/08]
- ☑ [14]高集合旅行
- ☑ [09/08-09/13]
- ☑ [19]日本・武生《エピソード》
- ☑ [09/14-09/22]
- ☑ [16]日本《After Story》
- ☑ [09/22-]
- ☑ -撮影
- ☑ -取材・採番
- ☑ -発動
- ☑ -行先
- ☑ -訪問記
- ☑ -雑記
- ☑ -金動物写真

●ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

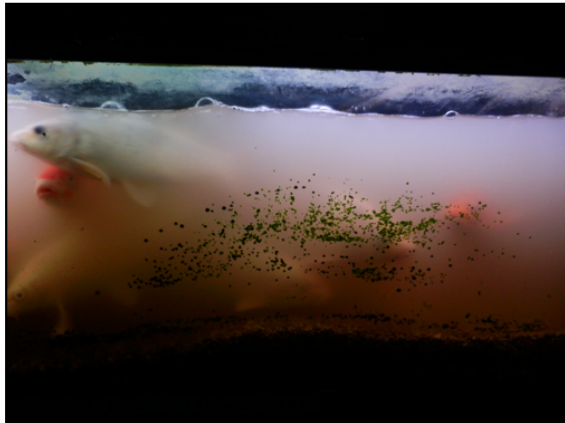


KSS 2.0

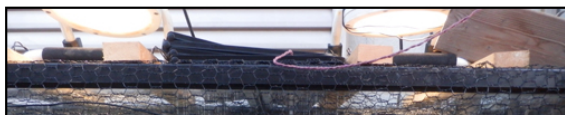
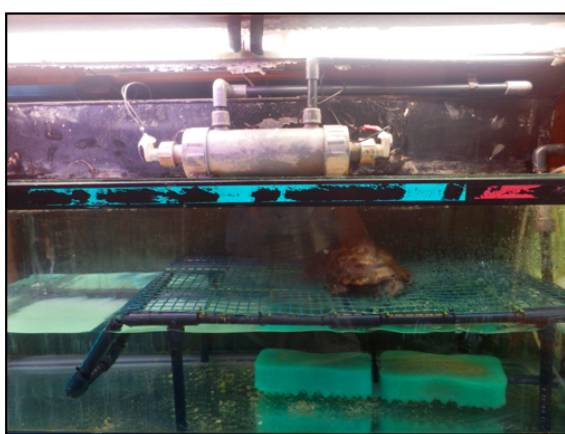
でも、そんな日常を送りながらも「彼の地に立っていた」という確からしさだけはいつも頭の片隅にあって、ふとした瞬間にフラッシュバックを起こしています。

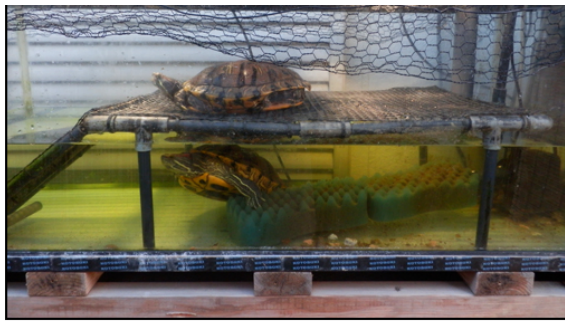
感覚はともあれ、半年という時間は確実に過ぎていき、今は10月。日本での春と夏を経験しないまま秋です。

半年という時間は生き物たちにも確実に訪れていて・・・、家人に管理を頼んで旅を続けたものの限界があり、すべての水槽をーからセットアップし直しました。理たちは最風水槽では狭すぎて濾過も間に合わないため、濾過槽自作のプラ舟池を新設(水量670L)。



亀は未亡人のクサガメがアカミミガメ夫婦のいじめを受けたため隔離、鏝がいた水槽にお引っ越し。





熱帯魚がほぼ増減していたり、反対に父愛玩の流金に10匹以上稚魚が生まれて既に2センチ位に成長していたりと、半年なりの経過をしていました。



▲稚魚たち。

出国前にブログに載せた生き物たちのその後でした。

後期の授業も間もなく始まり、また帰国報告スライドショーの日糧も定まり、FW2012も次のスキームが始まります。

カテゴリ: [\[16\]日本《After Story》](#)
[【09/22】](#)
[・雑記](#)

post by 池田 篤彦 | 日時: 2012.10.02 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)